

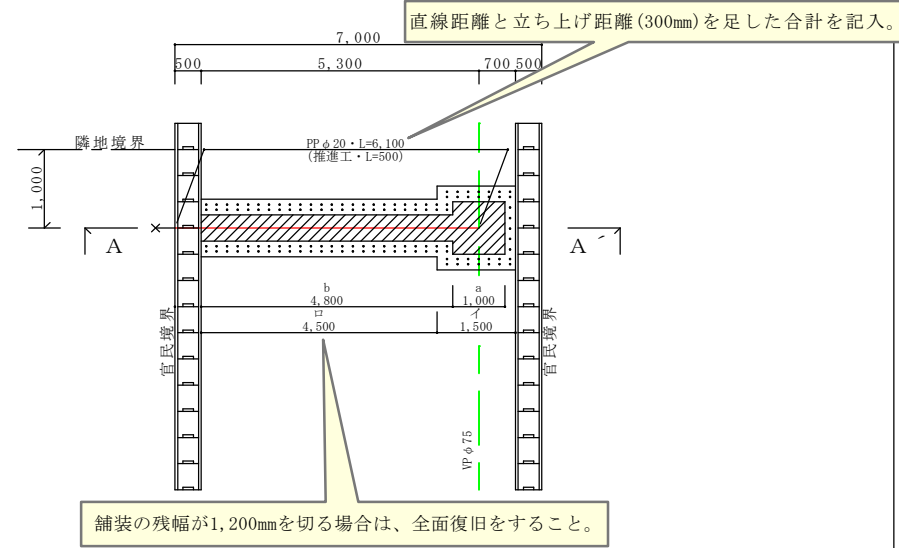
※本管H=1.0の場合(及び1本申請の場合)

位置図



申請地位置図

平面図 S=1/100



舗装の残幅が1,200mmを切る場合は、全面復旧をすること。

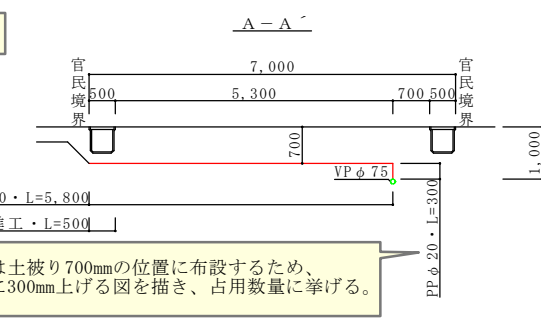
埋戻し工図 S=1/30

※ 埋設クロスシートは市町村道管上400、国県道管上300とする。
※ 埋戻しの際に下層路盤を造る。

舗装復旧工図 S=1/30

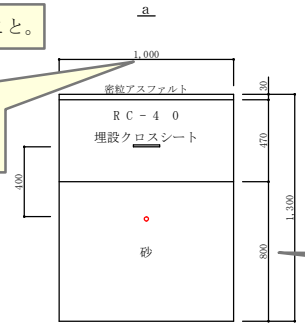
※ 舗装本復旧を行う際は不陸調整を行い転圧を十分に行う。

断面図 S=1/100



米印の二文を記入すること。

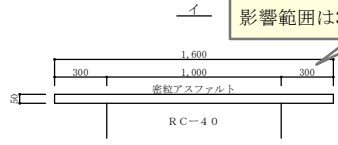
実際の施工に支障のない範囲で、接続点の掘削幅は最大500mmまで狭めて設計してよい。



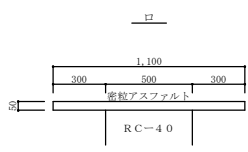
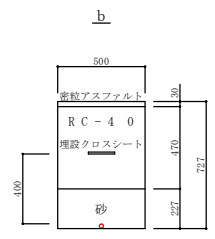
米印の文を記入すること。

本管の口径がφ100以上の場合、本管の外径を砂に足す。
例：本管がVPφ100の場合は、800+114(VPφ100の外径)=914
合計もそれに伴い、1,414となる。

影響範囲は300mm以上確保すること。



市町村道の場合、給水管は土被り700mmの位置に布設するため、本管との接続点から直角に300mm上げる図を描き、占用数量に挙げる。



平面・断面 埋戻し・復旧図		縮尺
		S=1/100
		S=1/30

凡例	海部南部水道企業団	
既設管	申請場所	愛西市西條町大池180番地先
新設管	申請者	海南水太郎
掘削ヶ所	施工業者	(株) ○ ○ 水道
影響範囲		
管種	P	P

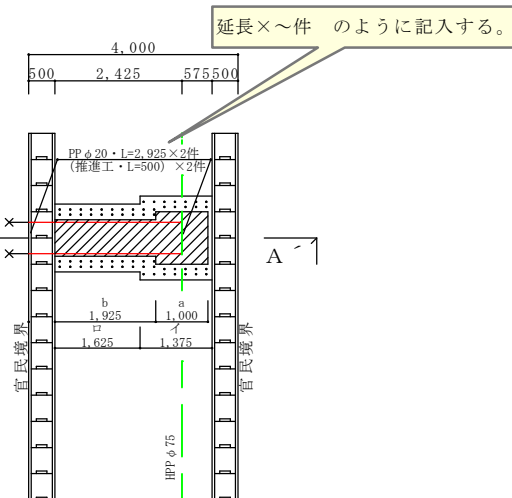
※本管H=0.7の場合(及び複数本申請の場合)

位置図



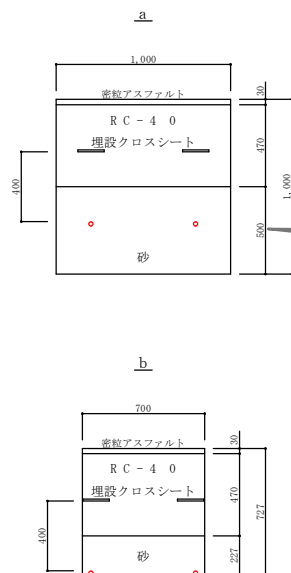
申請地位置図

平面図 S=1/100



埋戻し工図 S=1/30

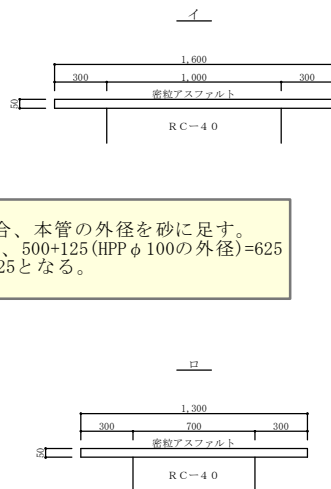
※ 埋設クロスシートは市町村道管上400、国道管上300とする。
 ※ 埋戻しの際に下層路盤を造る。



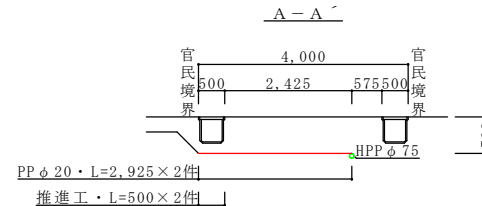
本管の口径がφ100以上の場合、本管の外径を砂に足す。
 例：本管がHPPφ100の場合は、500+125(HPPφ100の外径)=625
 合計もそれに伴い、1,125となる。

舗装復旧図 S=1/30

※ 舗装本復旧を行う際は不陸整正を行い転圧を十分に行う。



断面図 S=1/100



平面・断面
埋戻し・復旧図

縮尺
S=1/100
S=1/30

凡例		海部南部水道企業団	
既設管	HPPφ75	申請場所	愛西市西條町大池180番地先
新設管	PPφ20		
掘削ヶ所		申請者	海南水 太郎
影響範囲			
管種	P P	施工業者	(株) ○ ○ 水道